

# 【食品等事業者の方へ】 水害時の営業再開に向けて

水害による浸水で、調理場や食品製造施設が食中毒や感染症の原因になる細菌に汚染されている可能性があります！

営業を再開される場合は、お客様に安全な食品を提供するために次の事項を点検しましょう。

点検前にまず実施しましょう！



- ・調理場、食品製造施設の被害状況の確認を行いましょ
- ・浸水を受けた衛生備品(マスク、布巾、ペーパータオル、衛生手袋)などは全て廃棄しましょ
- ・洗浄、乾燥、消毒が難しい木製の器具等は廃棄しましょ

## 〈点検項目〉

### 1. 調理場・食品製造施設内の洗浄、消毒を行う

- ①たい積した泥や水をバケツ等でくみ出し、洗浄剤を使って洗浄し、流水でよくすすぐ
- ②塩化ベンザルコニウム逆性石けん(0.1%濃度)を散布するか、浸した布でよく拭き乾燥させる

### 2. 調理器具の洗浄、消毒をする

調理器具、食器類は水洗い後、煮沸または次亜塩素酸ナトリウム(0.02%=200ppm)溶液に5分以上浸し、自然乾燥させる



### 3. 汚水に接触したおそれのある食品や保存温度が適正に保てなかった要冷蔵・冷凍食品は思い切って捨てる

### 4. 冷蔵庫、冷凍庫などの設備が正常に動いているか確認する

- ①冷蔵庫が浸水した場合は、庫内を洗浄後、消毒用アルコールで消毒する
- ②温度計で庫内温度を確認してから使用する



### 5. 使用水を確認する

井戸水を使用している場合、濁りの有無や滅菌器が適切に動いているかを確認し、必要に応じて水質検査を受ける

お問い合わせ

大分県食品・生活衛生課 097-506-3056

大分県南部保健所衛生課 0972-22-0562



# 水害時の消毒法



消毒対象	消毒薬	調整方法	使用方法	注意事項
<p><b>屋外</b></p> <p>(し尿槽や下水があふれた場所、動物の死骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下)</p> 	<p>クレゾール石けん液</p> 	<p>クレゾール石けん液30mlに水を加えて1リットルとする。 (液が濁っている場合には上澄み液を使う。)</p> 	<p>家屋の周りには、じょうろや噴霧器などで濡れるように撒く。 壁面は、泥などの汚れを水で落としてから、消毒液をひたした布などでよく拭く。 (または噴霧器を使う場合は、濡れる程度に噴霧する。)</p> 	 <p>取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、メガネ、マスク、ゴム手袋などを使用し皮膚や目にかからないように注意すること。</p>
<p><b>屋内</b></p> <p>(汚水に浸かった壁面や床、家財道具)</p> 	<p>オルソ剤 (バンソール等)</p> 	<p>オルソ剤20mlに水を加えて1リットルとする</p> 	<p>泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、うすめた液を浸した布などでよく拭く。 (又は噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。その後は風通しをよくしそのまま乾燥させる。)</p> 	<p>皮膚についた場合には大量の水と石けんで良く洗い流す。目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けること。</p>
<p><b>手指</b></p> <p>(後片づけなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)</p> 	<p>塩化ベンザルコニウム逆性石けん (オスバン等)</p> 	<p>塩化ベンザルコニウムまたは塩化ベンゼトニウムとして0.1%の濃度になるようにうすめる。 (10%の製品の場合、本剤10mlに水を加え1リットルとする) いろいろな濃度のもので市販されているので、希釈倍率に注意する。</p> 	<p>汚れを石けんで洗った後、流水で石けんを落とし、洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いをする。 その後、乾いたタオルなどでよく拭き取る。石けんが残っていると殺菌力が低下するので、よく洗い流す。</p> 	<p>使用する直前に希釈し、希釈する濃度を守ること。</p> <p>他の消毒液や洗剤などと混合しないこと。</p> 
<p><b>食器類</b></p> 	<p>次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン等) ハイターは界面活性剤が入っているためすすぎが必要です。</p> 	<p>10%製品を使用する場合は、本剤2mlに水を加えて1リットルとする。 (次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.02%になるように希釈する。)</p> 	<p>食器を水洗いした後、消毒液に5分以上浸し、自然乾燥させる。</p> 	<p>器に移して保管しないこと。</p> 
<p><b>井戸水</b></p> 	<p>次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン) ハイターは界面活性剤等が入っているため飲料時には使いません。</p> 	<p>10%製品を使う場合は、水1リットルにつき1滴を加える。 (残留塩素として1~2ppmの濃度になるように調整する。)</p> 	<p>汚染された井戸水は水質検査で飲用可能になるまで飲まないほうが良い。やむを得ず使用する場合は、煮沸してから使う。 (どうしても、消毒薬を使う場合は、くみ取った水に1~2ppm濃度になるよう調整した消毒液を入れ、30分以上放置してから飲用する。)</p> 	<p>浄化微生物に影響を及ぼすので、浄化槽には散布しないこと。</p>